

展示No.	提案名	区分	分類			
岩手県 81	クレーン作業安全支援システムⅡ	自動機／装置	その他(安全)			
		工法	新規性			
			日本初			
提案の狙い		適用可能な製品／分野				
<input type="checkbox"/> 原価低減 <input type="checkbox"/> 質量低減 <input checked="" type="checkbox"/> 生産(作業)性向上		工場内クレーン作業、各種工事				
<input type="checkbox"/> 品質／性能向上 <input checked="" type="checkbox"/> 安全／環境対策 <input type="checkbox"/> その他 ()						
従来		新技術・新工法				
工場内のクレーン作業における安全確保 ・監視員の設置 ・RFIDを用いた人物検知 ・クレーンの低速制御		・ステレオカメラとAI認識を用いた 注意喚起及びクレーンの自動制御				
システムの概要 <p>ステレオカメラとAIによって現場を立体的に認識 危険を判断して、安全作業を支援します</p> <p>AI認識 AIにより現場画像を学習し、作業員・吊り荷を検出します</p> <p>3次元計測 作業員・吊り荷の距離情報から、危険を検知します</p> <p>自動制御 検知結果に応じてクレーンの停止／速度制限が可能です</p> <p>3次元を捉えるステレオカメラ</p> <p>作業記録・管理アプリケーション 検知結果をアプリで確認。撮影データはクラウドにアップ。どこからでも確認できます。</p>		死角の排除による更なる安全性の向上 安定した人物検知 ⇒カメラ2台構成の安全支援システム <p>有線</p> <p>有線</p> <p>有線</p> <p>処理BOXの動作内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 撮影画像をリアルタイムAI認識 ● 2台の認識結果を基に危険信号の発令 ● クラウドとの通信 ● オプション機器との通信 				
セールスポイント(製造可能な精度/材質等)		問題点(課題)と対応方法				
人に頼らず、距離情報とAI認識で危険を検知し、検知結果を複数の手段で作業員・オペレータに通知やクレーンの制御ができる。		予防安全機能だけでは、システム導入が割高に見えるので、生産性の改善や安全意識向上の教育ツールとしての価値を訴求し、導入意義を明確にする。				
開発進度		パテント有無				
(2026年1月 現在) 製品化完了段階		申請中				
従来比較	コスト	質量	品質	生産性	作業性	その他(安全対策)
	-	-	-	向上	向上	向上
会社名	株式会社オプトル			所在地	岩手県花巻市大畑10-109	
連絡先				URL	: https://www.optowl.com/	
部署名	センシング事業部企画事業室			Tel No.	080 3565 5756	
担当名	佐々木 哲哉			E-mail	tetsuya_sasaki@jp.ricoh.com	
主要取引先	株式会社デンソー、日本精機株式会社、セイコーエプソン株式会社、豊田自動織機、大手ゼネコン各社（グループ会社向け、代理店経由を含む）			海外対応	<input type="checkbox"/> 可 [生産拠点国] <input checked="" type="checkbox"/> 否	